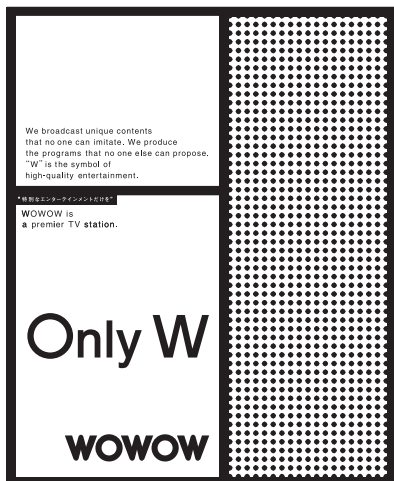


第20期事業報告書
2003年4月1日~2004年3月31日
株式会社 WOWOW



メッセージワード

「プロデュース。WOWOW」から「Only W」へ



「Only W」とは、「プロデュース。WOWOW」を進化させたものです。

WOWOWは2002年11月からの15ヶ月間、「プロデュース。WOWOW」をキーワードにたくさんの価値を生み出してきました。WOWOWのオリジナリティを代表する「ドラマW」もその一つ。番組以外にも新しいWOWOWの価値を創り出すプロデュース作業を全社で取り組んでいきます。この「プロデュース。WOWOW」の精神を活かした新しいキャッチコピーが「Only W」です。

「Only W」とは、「プロデュース。WOWOW」の結果です。

プロデュースとは“創造する”ということ。創造という作業で生み出してきたもの—それはWOWOWだけが持つ価値です。WOWOWが、この15ヶ月間で創り出してきた“WOWOW独自の価値”を、「Only」の言葉で新たに表現しました。「プロデュース。WOWOW」は、創造するWOWOWの姿をお客様に提示してきましたが、そこから一歩進めて“創造した価値をお客様に提示する”のが「Only W」です。

表紙について

drama w 「オリジナルドラマプロジェクト・ドラマW」

斬新かつエンターテインメント性に富んだハイビジョンによるオリジナルドラマの制作プロジェクト

人々のドラマに向ける視線が確実に進化し、ハリウッドと邦画の壁も観客の側から崩れようとしている現在。そんな時代にふさわしいドラマとはどのようなものでなければならぬのか。私たちは、ここに、ひとつの解答を提示します。それが「ドラマW」。WOWOWから生まれた斬新かつ質の高いオリジナルドラマたちが今、日本のテレビ界に静かな革命を起こしつつあります。

(詳しくは、8ページをご覧ください)

表紙の写真は上から、「コスメティック」、「愛と資本主義」、「近所探偵 TOMOE(©TOMOE Partners)」、「恋愛小説」、「俺は鯉—WASHI—」、「センセイの靴」、「交渉人」、「娘の結婚」

CONTENTS

03 株主の皆様へ	16 単体財務諸表
04 社長メッセージ	17 ネットワーク
08 特集	18 会社データ
10 NEWS & CONTENTS	19 株式の状況
12 ハイライト(連結)	株主メモ
14 連結財務諸表	20 WOWOWのご加入案内
	株主優待制度

株主の皆様へ

株主の皆様、日ごろは格別のご高配を賜りまことにありがとうございます。

日本経済はやや薄日が差し始めたとはいえ、衛星放送業界は激しい競争状態が続くなど、WOWOWを取り巻く経営環境は依然厳しいものがございます。

このような状況のなか、6月23日の株主総会でご承認いただきました2003年度決算は、経費の削減などに努め、営業黒字は達成しましたものの、連結・単体とも最終利益は赤字となりました。CS(通信衛星)放送事業などへの出資株式の評価損が大きかったためです。株主の皆様のご期待を裏切る結果となりましたことを深くお詫び申し上げます。

WOWOWはBS(放送衛星)を使用して、デジタル方式とアナログ方式の放送を同時に行っている世界で唯一の民間テレビ局です。テレマーケティング会社や携帯電話に情報を発信する関連会社もございます。

この春から弊社は、新しいキャッチフレーズ「Only W」をさまざまな場面で展開しております。WOWOWにしかできない、WOWOWでなければ見られない、価値ある番組を放送すると同時に、加入者の皆様に夢と感動をお届けすることを社員一同で誓い合っております。

2004年度は、弊社とおお客様の期待との間にズレがありはしないかを検証しながら、新しいWOWOWへ進化を遂げるスタートの年にいたします。



代表取締役社長
廣瀬 敏雄

代表取締役会長
佐久間 昇二

また衛星放送事業を中核としながら、3年後にはあらゆるチャンネルや仕組みを通じてコンテンツを提供する“エンターテインメント・デジタルコンテンツ・プロバイダー”になることをめざしてまいります。

そして加入者＝視聴者という従来からの考えを、加入者＝会員という発想に転換して、WOWOW会員クラブの構想づくりに着手いたします。

WOWOWは、日本最大の有料テレビ局として、今後もさらなる発展を期してまいります。株主の皆様には、これまで以上のご支援、ご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

代表取締役社長

廣瀬 敏雄

“エンターテインメント・デジタルコンテンツ・プロバイダー” をめざして

本格的なデジタル放送時代を迎え、放送サービスを取り巻く環境は大きく変動しています。

こうしたなかで、前期(2002年度)における加入者数の減少は、
当社の根幹である“加入者の皆様との良好な関係”を改めて見直し、
今後の進むべき道を考える上で貴重な機会となりました。
この一年間、当社が何を考え、どのような施策を行ってきたか、
そして今後どのような方向に向かっていくのかを、社長である廣瀬敏雄に聞きました。

**当期は加入者数低迷期からの脱却を果たし、
加入者獲得と収益性との両立を達成した一年と
なりました。**

当期一年間を振り返ってみますと、加入者獲得と収益性を両立できる体制づくりに向けて、さまざまな施策を講じた一年となりました。

私たちのような「会員ビジネス」を展開する企業にとって、加入者数は売上や利益と並ぶ重要な経営指標です。事実、前期(2002年度)は利益面では2年ぶりの黒字回復を果たしたものの、加入者数の減少に対して投資家の皆様に危機感を抱かせてしまい、株価にも影響を及ぼす事態となりました。

そこで、改めて加入者数の維持・向上に注力すべく、特に上期(4月～9月)におきましてはプロモーション活動を強化するとともに、新規加入者への初期費用無料サービスなどのキャンペーンを展開し、需要の喚起に努めました。この結果、一時的に販促・宣伝費が増加したため利益面ではマイナスとなりましたが、加入者数減少の流れを食い止め、回復方向に持ち込むことができました。

これに対して、下期(10月～3月)は上期の加入者増をベースに、収益性の高いデジタル放送への加入移行を推進するなど、収益面での強化を図りました。

最終的には、ほぼ前年並みの営業収益を記録し、営業利益では黒字を確保できました。ただし、東経110度CSデジタル放送事業の見直しを行い、CS関連会社の株式評価損を計上したことや為替評価損などを特別損失として計上したことで、当期純損失となりました。とはいえ、今回の特別損失は次期以降の体質強化を図るための施策と位置づけており、加入者数を維持しながら利益体質を実現できたこともあり、収益性向上に向けた基盤を整備できた一年だと言えるでしょう。

加入者数を支えるのは、放送内容の充実による利用率の向上です。

有料放送サービスを行う当社にとって、何よりも放送内容(番組編成・コンテンツ)が重要であることは言うまでもありません。加入者の皆様が放送内容を楽しんでいただ



代表取締役社長 **廣瀬敏雄**

るからこそ、継続して視聴いただけるのであり、また新規加入者の獲得にもつながるのです。

こうした考えのもと、2003年4月に行った番組改編では、“**習慣編成**”をコンセプトに、曜日ごとにテーマを決めた映画放送の枠を設け、会員の皆様から『利用しやすい』とのお評価をいただきました。また、コンテンツにつきましては、ドラマやアニメーションなどWOWOWオリジナルの番組制作を強化。とくにオリジナルドラマでは、

習慣編成

定曜定時型の番組編成。日曜日の夜は、家族そろって楽しめる大ヒット作を揃えた「メガヒット劇場」。土曜日の夜は大人がじっくりと楽しめる秀作映画をお送りする「サタデーナイトシアター」など、曜日・時間帯ごとに視聴者特性を意識したテーマを設定しています。

地上波ではなかなかできない作家性の高い番組を次々と発表しており、最近ではWOWOW放送後に地上波での放送や劇場公開される番組も登場しています。

このように、WOWOWでしかできない番組を追求することで、利用率〈(視聴者数+録画者数)÷加入者数〉は前期に比べて約20%以上もアップ。これが解約者増の歯止め大きく寄与していると考えています。

デジタル放送時代の到来を追い風に、 WOWOWならではの強みを活かした番組放送 を推進。

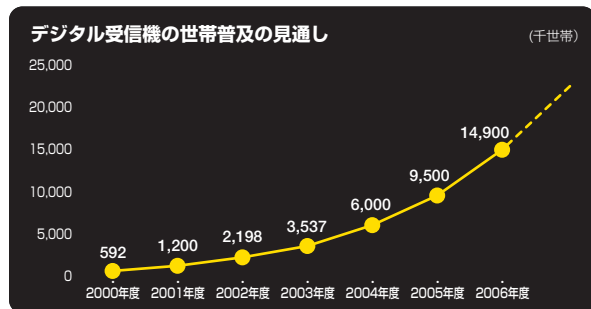
2003年12月から、いよいよ地上波デジタル放送が開始され、デジタル放送時代が本格的にスタートしました。地上波・BS・東経110度CS三波共用のPDP(プラズマテレビ)や液晶テレビの発売など、ハード面が整備されたことも、加入者増の要因となっています。2004年の夏には、アテネオリンピックの放送に合わせて、これらデジタル放送受信機がさらに普及するものと見られています。

こうした流れを追い風に、当社はより収益性の高いデジタル放送の加入者獲得(新規加入とアナログ放送からの移行による加入)を図っており、デジタル放送におけるWOWOWならではの強みである5.1chサラウンド・ステレオ、ハイビジョン放送番組を強化していきます。

また、往年の名作映画をデジタルリマスターすることで、映像・音声の品質アップはもちろん、モノクロ作品をカラー

化して放送することも可能です。

当社は今後も、デジタル放送の新たな可能性を追求し、加入者の皆様に提案していきます。



※2003年度までの実績はNHK発表数値、2004年度以降は当社推計

お客様との接点を拡大するために、 営業チャンネルや放送チャンネルを拡大。

当社が当期、加入者数と収益性を向上できたのは、お客様の声に耳を傾け、お客様の声を反映したサービスの提供やプロモーション活動を実践できたからだと思います。今後も、カスタマーセンターの充実など、お客様の声に対するアンテナを高く、広くすることで、ニーズ把握の精度を高めていきます。

また、お客様との接点を拡大するという意味では、営業チャンネルの強化も重要だと考えています。従来では、WOWOWに加入いただく機会は機器購入時がほとんどであり、営業窓口の大半が電気店やケーブルテレビ局でした。現在では、これに加えて当社ホームページやデータ放送チャンネルからの加入も可能です。また、デジタル受信機にB-

CASカードが同梱されたことで、受信準備も簡略化されており、お客様がより簡単に加入いただけるための環境整備が進んでいます。

さらに、衛星放送以外への視聴チャンネルの拡大も同時に行っています。従来からもアンテナを設置できない地域の方々向けにケーブルテレビ局での放送も行っていたが、2003年12月からは「レオパレス21」での放送を開始しています。

3年後、従来の放送ビジネスの枠を超えた、 “エンターテインメント・デジタルコンテンツ・ プロバイダー”をめざして。

当社は、2004年度から2006年度までの中期経営計画を発表いたしました。

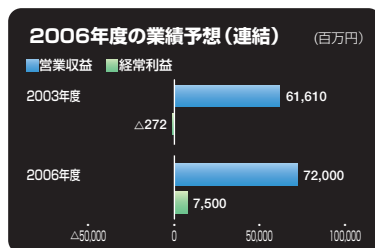
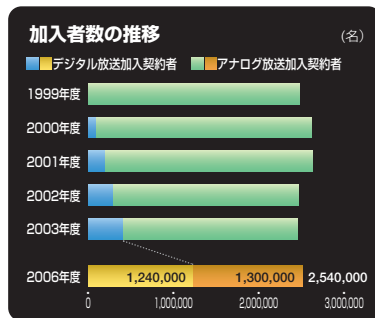
3年後に“エンターテインメント・デジタルコンテンツ・プロバイダー”に進化するということを目標としています。具体的には、デジタル化の進展に伴う事業環境の変化に対応していくために、BS放送事業を中核としながらも、サーバー型放送、東経110度CS放送、ブロードバンド、パッケージメディア、イベントなど、あらゆるメディアを通して、エンターテインメントの“驚きと感動”を提供できる企業をめざしていきます。

主な施策は、1. 収益性の高いデジタル加入の推進や効率的な加入獲得策の推進、および番組費の効率的な投下など、事業の収益性・成長性を確保するための構造改革の推進、2. 広告、イベント事業、著作権事業に加えて、会員ビジネス等の附帯事業の積極推進、3. ビデオ・オン・デマンド



ドのサービスが可能となるサーバー型放送などの新しい放送サービスへの取り組み、そして、4. 基幹事業である放送サービスでは、「Only W」のコンセプトに基づくオリジナル番組やハイビジョン&5.1chサラウンド・ステレオ放送の拡充などを通して「WOWOWならではの番組のクオリティ」「最強の映画編成とスペシャリティ」を追求することです。

これらを着実に遂行していくことにより、2006年度末には、累計加入者数254万名を見込んでおります。新規デジタル加入やアナログからデジタルへの移行の進展により、デジタル加入者が124万名と、アナログ加入者とほぼ同じシェアへ拡大するものと予想しております。



また、2006年度の業績目標については、連結で営業収益(売上高)720億円、経常利益75億円、当期純利益54億円の実現をめざしてまいります。

本格的デジタル放送時代に向けて、 累積損失を一掃し、財務体質を強化。

当社は、今後の本格的デジタル放送時代にさらに飛躍していくための財務体質の強化を目的に、資本政策を実施いたします。第三者割当増資を行うとともに、資本準備金の取崩しと資本金の減少により、累積損失を一掃することになりました。

具体的には、52億円の第三者割当増資を行うとともに、累積損失198億円(2003年度末)を、資本準備金109億円全額と資本金113億のうち89億円を減少することにより一掃するものです。なお、資本金の減少による株数の変更はございません。

この一連の資本政策が完了いたしますと、資本金50億円、資本準備金26億円となり、資本合計は79億円となります。(数字の詳細については16ページをご覧ください)

会社を健康体にして、今後のデジタル時代の競争を勝ち抜いて新しいWOWOWへ進化すること、そして、適正な利益を生み出して株主の皆様へ還元できるようにすること、これらの目標に向けて、全社一丸となってさらなる経営努力を行ってまいります。

今後も皆様の変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

WOWOWから生まれた新しいドラマのかたち～ドラマW

デジタル放送時代に突入し、地上波テレビやBS、CS放送などでの競争が激化するなかで、WOWOWでは、選ばれる企業になるためにWOWOWブランドのオリジナリティを打ち出したコンテンツの制作を推進しています。

2003年からスタートした「ドラマW」は、斬新かつ質の高いハイビジョンによるWOWOWオリジナルの作品を生み出すことを目的として始めました。

今では、お客様からだけでなく、各方面からも高い評価※をいただいています。

※「センセイの鞆」が平成15年日本民間放送連盟賞番組部門テレビドラマ最優秀賞と平成15年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞、「交渉人」「恋愛小説」が2003年ギャラクシー奨励賞受賞など

有料放送だから制作できる強み

広告収入が収益の柱である地上波放送と違い、WOWOWはお客様から視聴料をいただく有料放送であるため、番組の間のCMや視聴率、スポンサーなどを意識せずに番組制作を行うことができます。このため、地上波テレビではなかなか制作することができなかった作品に挑戦しています。

たとえば、2003年6月に放送しました「コスメティック」は、林真理子原作の人気小説でありながら、あまりにもリアルな化粧品業界の内幕を描写しているため、地上波テレビではドラマ化が難しかった作品です。しかし、



コスメティック

スポンサーの影響を受けにくいWOWOWではドラマ化を実現し、高い評価をいただきました。

WOWOWでの放送の枠を超えた多メディアで展開

新しい取り組みとして、WOWOWでの放送という枠にとらわれず、新たなメディアへの展開も始めました。

2003年2月に放送した久世光彦演出・小泉今日子主演の「センセイの鞆」はWOWOWで放送後、各方面で高い評価をいただき、2004年4月には地上民放局での放送を行いました。



センセイの鞆

また、2004年3月に放送した金城一紀原作・玉木宏主演の「恋愛小説」は、WOWOWでの放送後、多くのお客様からの反響があり、その感動の声にお応えして、渋谷シネ・ラ・セットで初夏に劇場公開します。同作品がWOWOWによる初めての劇場配給作品となります。



恋愛小説

このほかにも、DVDソフトとしてレンタル・販売を行うなど、WOWOWでの放送にとられない多くのメディアを使った展開をしていきます。

最新情報

直木賞受賞作品「4TEEN」を7月25日に放送!

第129回直木賞を受賞しました「4TEEN」のドラマ化がWOWOWで早くも決定!
原作は「池袋ウエストゲートパーク」など多くの著書が映像化され、人気を得ている石田衣良。
WOWOWでは、2004年7月25日に本作品を放送する予定です。どうぞご期待ください!



お客様参加型の多彩なイベントを展開

WOWOWならではの価値の創造をめざす活動のなかから、番組をより身近に感じていただくため、お客様参加型のイベントを展開しました。お客様との交流の場として行ったこの取り組みの一部を紹介いたします。

当期は、「ライブW」や試写会、トークショー、サッカー観戦ツアーなどWOWOW会員限定の特別イベントを実施し、お客様からご好評の声をいただきました。

これからも「WOWOWっていいね!」とのお客様の声の輪をもっともっと大きくしていく努力を続けて、放送サービスから会員サービスへの新たな展開を図っていきます。

2004年3月

- ライブW「綾戸 智絵」ライブご招待



©nd chow

- 海外ドラマ試写会ご招待



2004年1月

- 「ロード・オブ・ザ・リング／王の帰還」来日記者会見ご招待

2004年2月

- 「ゼブラーマン」公開初日舞台挨拶ご招待



2003年12月

- スペイン特派員クラシコ観戦ご招待



2003年8月

- サザンオールスターズライブ特派員ご招待



2003年7月

- ライブW「スガ シカオ」シークレットライブご招待



- 海外ドラマ試写会ご招待



2003年6月

- ドラマW「コスメティック」トークショーご招待



live W

WOWOW加入者の皆様にさまざまな特典を用意し、他では見られないプレミアムな内容をWOWOWが独占放送するオリジナルライブ企画「ライブW」。第一弾「スガ シカオ」に続き、第二弾「綾戸 智絵」のライブを開催し放送いたしました。WOWOWでは、今後もオリジナルライブ「ライブW」シリーズを継続的に企画&オンエアする予定です。

NEWS



●「UEFA EURO 2004™」
日本国内における独占放送権獲得内定

●経営体制を一新

6月24日に開かれた株主総会後の取締役会において佐久間晃二代表取締役会長兼社長の代表取締役会長就任、廣瀬敏雄取締役の代表取締役社長就任が決定しました。

●「株主優待制度」の導入を決定

(「株主優待制度」の詳細については、裏表紙をご覧ください)

●沖縄カスタマーセンター
開所

●「V6全国5都市同時試写会」
へのWOWOW技術協力に
ついて

「V6」の初主演映画「ハードラックヒーロー」の日本初となる全国同時ハイビジョンライブ配信試写会に際し、高画質・高音質なハイビジョンによるライブ映像の制作および配信について技術協力いたしました。

●ベッカム、WOWOWの
キャラクターに決定

WOWOWは、デヴィッド・ベッカム選手とキャラクター契約を締結しました。

テレビCMをはじめとした、WOWOWヨーロッパサッカーのプロモーションなどさまざまな展開をしています。

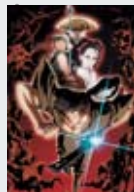


2003年

4月

●ドラマW
「俺は罠」

●獣兵衛忍風帖
＜龍宝玉篇＞



●2003 川原素明・マッドハウス
●龍宝玉組

●生中継★三谷幸喜
「オケビ！」

5月

●ハリー・ポッター
と賢者の石



©2001 Warner Bros. Entertainment Inc. Harry Potter characters, names and related indicia are trademarks and © of Warner Bros. Entertainment Inc. All Rights Reserved. Harry Potter Publishing Rights © J.K.R.

●全仏
オープンテニス



●ライブ
「スガ シカオ」

7月

●「スティープン・
スピルバーグ TAKEN」



TM&©2003 DREAMWORKS LLC.
All Rights Reserved.

●ライブ
「スガ シカオ」

●NODA・MAP
「オイル」

8月

●ドラマW
「交渉人」

●スペインサッカー
リーガ・エスパニョーラ



©Actionimages/PHOTO KISHIMOTO

●海外ドラマ
「SEX AND THE CITY」第5シリーズ



Still provided courtesy of Paramount Pictures. SEX AND THE CITY is licensed from Paramount Pictures and exhibited on Wowow during 2003 and 2004. COPY-RIGHT © 2004 BY PARAMOUNT PICTURES. ALL RIGHTS RESERVED. SEX AND THE CITY IS A TRADEMARK OF HBO AND SERVICE MARK OF TIME WARNER ENTERTAINMENT COMPANY L.P.

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

●エキサイトマッチ



©Getty Images/AFLO

●ドラマW
「愛と資本主義」

●ドラマW
「娘の結婚」

●黄泉がえり
WOWOW出資作品

CONTENTS

※2003年度放送実績および2004年度放送予定の番組を掲載しております。

● **ドラマW「センセイの鞆」平成15年度文化庁芸術祭優秀賞受賞**

● **株式会社レオパレス21への放送番組配信開始**
 WOWOWは、12月20日より「レオパレス21」に対して放送番組の配信を開始しました。「レオパレス21」が管理する建物の入居者向けに提供している「LEO-NET CS PLUS」というサービスで楽しむことができます。

● **「楽天市場」の「パソコン・家電・AV」ジャンルに出店**
 12月10日からインターネットショッピングモール「楽天市場」に「WOWOW楽天ショップ」をオープンしました。BS・CSチューナー、アンテナ付加入方式の「BS・CSデジタルパック」や番組と連動した商品なども取り扱っていきます。

● **5.1chサラウンド・ステレオ収録番組NODA・MAP「オイル」で第3回(2003年度)映像技術賞を受賞**

WOWOWが独自に5.1chサラウンド・ステレオ収録したNODA・MAP「オイル」の録音技術が高く評価され、WOWOW技術局技術計画部の中村寛が、社団法人 日本映画テレビ技術協会主催の第3回映像技術賞を受賞しました。



©NODA・MAP

● **「Only W」スタート**

● **ドラマW「理由」+韓国ドラマ「夏の香り」放送直前ブロードバンド試写会**

● **ドラマW「センセイの鞆」地上民放局で放送**

● **ドラマW「恋愛小説」劇場公開決定(6月公開予定)**

● **「UEFA EURO 2004™ フェスタ!」キャンペーン実施**
 「UEFA EURO 2004™ サッカー欧州選手権」の放送にあわせたキャンペーンを開始しました。



2004年

1月

● 幕末純情伝



● 全豪オープンテニス



©テニスジャパン

2月

● 妄想代理人



©今 敏・マッドハウス / 「妄想代理人」製作委員会

● **ロード・オブ・ザ・リング/二つの塔**

©2002 New Line Productions, Inc. The Lord of the Rings, The Two Towers and the characters, events, items and places therein are trademarks of The Saul Zaentz Company d/b/a Tolkien Enterprises under license to New Line Productions, Inc. All Rights Reserved.



● **独占生中継! グラミー賞 2004**



©The Recording Academy

● ドラマW「恋愛小説」



©A.M.P.A.S.®

● ライブW「綾戸 智絵」

● **独占生中継! 第76回アカデミー賞授賞式**

4月

● ドラマW「理由」



5月

● **韓国ドラマ「夏の香り」**



©2003 KBS Media

6月

● **UEFA EURO 2004™**



©Actionimages/PHOTO KSHIMOTO

「UEFA EURO 2004™ サッカー欧州選手権」が6月に開幕します。WOWOWはEURO 96、EURO 2000™に続き、このサッカーの祭典を3大会連続でお届けします。グループリーグから決勝戦に至る全31試合を独占生中継でお送りします。

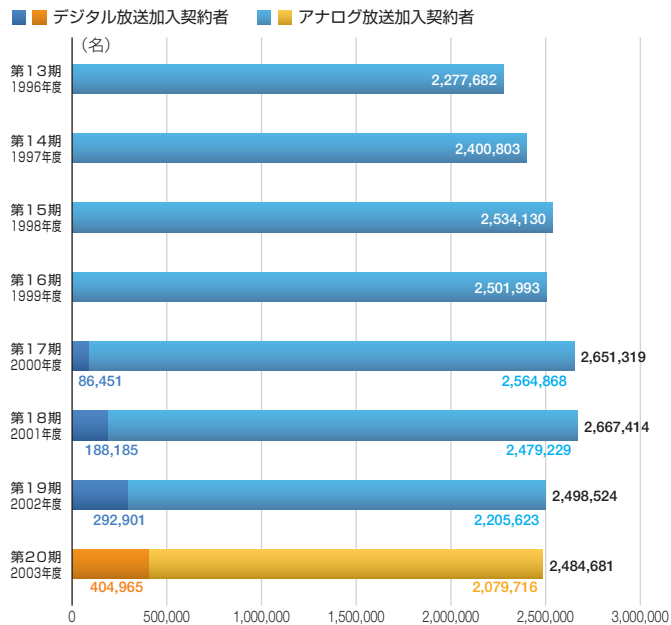
7月

● ドラマW「4TEEN」



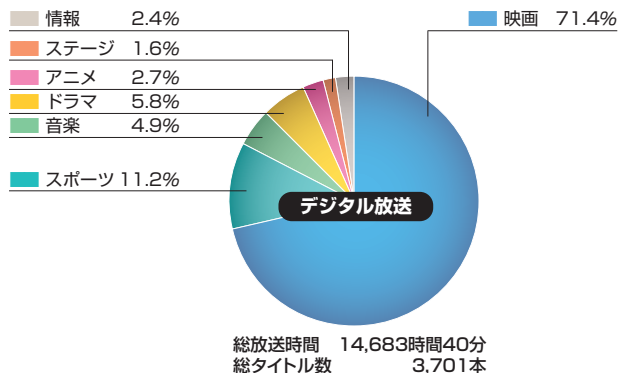
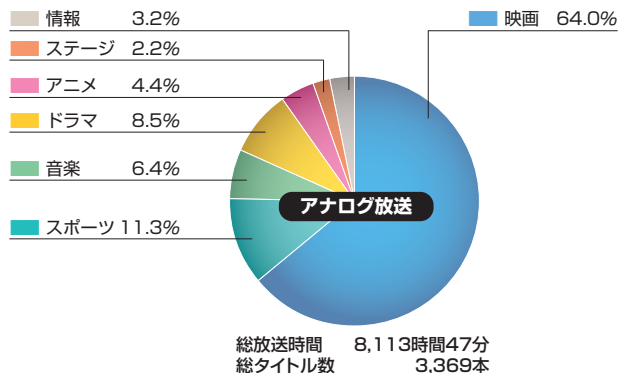
(詳しくは8ページをご覧ください)

加入者数の推移

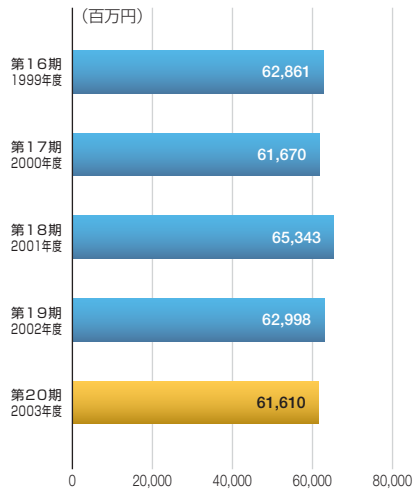


2003年3月から「番組編成」「プロモーション」「営業施策」を改革し、「WOWOWの魅力伝える」トータル・プロモーションを推進いたしました。また、地上波デジタル放送の開始によって、デジタル三波(BS/東経110度CS/地上)共用のデジタル受信機の販売も好調で、このようなデジタル化の波を追い風として、質・量ともに充実したデジタルWOWOWのハイビジョン、5.1chサラウンド・ステレオの高画質・高音質の番組をセールスポイントに、家電メーカー5社とタイアップしてデジタル加入促進キャンペーンを展開いたしました。年末年始の商戦期には、デヴィッド・ベッカム選手とキャラクター契約を締結、テレビCMや新聞、雑誌など多面的な広告展開を実施いたしました。加入受付についても、既存の電気店、ケーブルテレビ局経由に加えて、電話、インターネット、双方向データ放送などを活用した直接加入の施策を推進してまいりました。その結果、当期の新規加入者数は、311,675名(前期比39.9%増、内BSデジタル77,201名)、解約者数は325,518名(同16.9%減、内BSデジタル33,445名)、BSアナログ契約からBSデジタル契約への移行者が68,308名となりました。新規加入者数から解約者数を差し引いた正味加入者数は13,843名の減少(前期に比べて155,047名の改善)となりました。この結果、当期末の累計正味加入者は2,484,681名となり、前期比0.6%の減少となりましたが、前年度に続いた純減一方の流れを改善することができました。

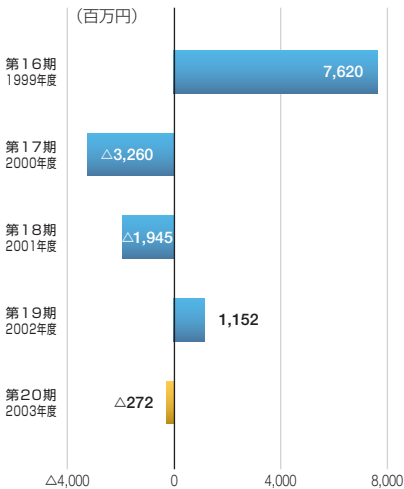
2003年度ジャンル別放送実績



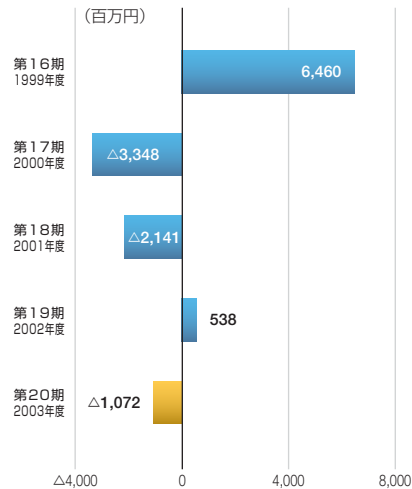
営業収益



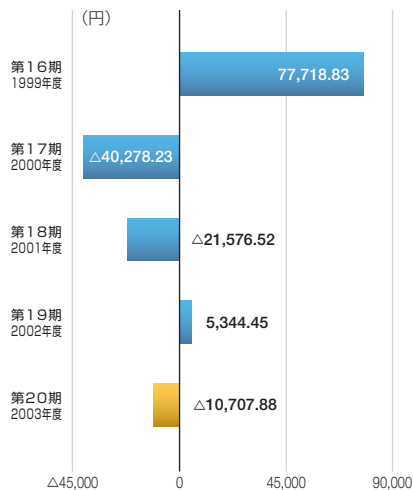
経常利益又は損失



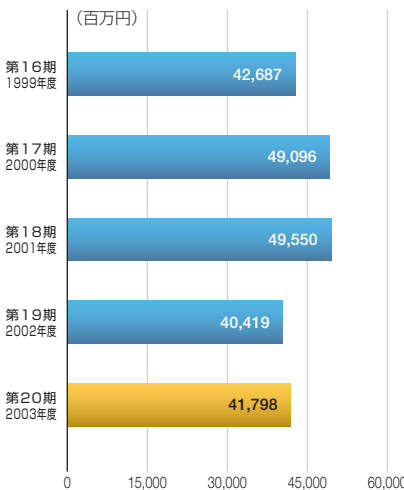
当期純利益又は純損失



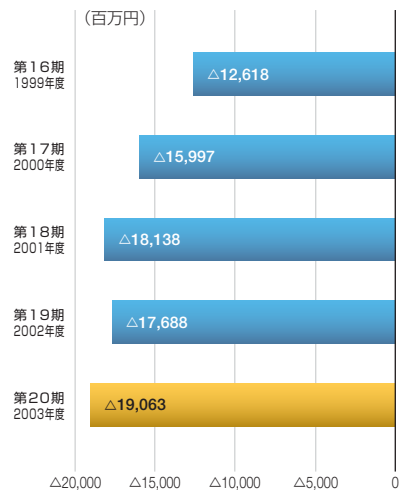
一株当たり当期純利益又は純損失



総資産



利益剰余金



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2004年3月31日現在	2003年3月31日現在
資産の部		
流動資産	24,243	20,105
現金及び預金	4,491	5,824
売掛金	1,594	1,315
番組勘定	17,439	12,044
貯蔵品	399	452
前払費用	171	144
繰延税金資産	34	48
その他	208	338
貸倒引当金	△95	△63
固定資産	17,554	20,313
有形固定資産	5,366	6,136
放送衛星	2,274	2,859
建物及び構築物	2,376	2,504
機械及び装置	518	618
工具器具備品	197	153
無形固定資産	6,030	6,875
借地権	5,011	5,011
ソフトウェア	913	1,561
その他	105	302
投資その他の資産	6,157	7,301
投資有価証券	5,078	6,466
長期貸付金	188	-
繰延税金資産	136	72
その他	766	784
貸倒引当金	△11	△22
資産合計	41,798	40,419

科目	当期	前期
	2004年3月31日現在	2003年3月31日現在
負債の部		
流動負債	30,786	31,459
買掛金	12,084	7,199
短期借入金	1,000	3,961
一年以内返済予定の長期借入金	1,000	1,329
未払金	1,181	1,584
未払費用	2,746	3,398
前受収益	12,243	13,350
賞与引当金	186	176
その他	343	459
固定負債	7,361	4,108
長期借入金	4,500	526
長期未払金	1,789	2,404
退職給付引当金	693	679
役員退職慰労引当金	236	220
繰延税金負債	-	8
その他	141	268
負債合計	38,147	35,567
少数株主持分		
少数株主持分	212	191
資本の部		
資本金	11,381	11,381
資本剰余金	10,956	10,956
利益剰余金	△19,063	△17,688
その他有価証券評価差額金	163	11
資本合計	3,438	4,660
負債、少数株主持分及び資本合計	41,798	40,419

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2003年4月1日～ 2004年3月31日	2002年4月1日～ 2003年3月31日
営業収益	61,610	62,998
営業費用	61,123	61,332
事業費	37,057	37,706
販売費及び一般管理費	24,066	23,626
営業利益	486	1,665
営業外収益	79	204
受取利息	14	44
為替差益	—	103
その他	65	56
営業外費用	838	716
支払利息	139	163
持分法による投資損失	494	538
支払手数料	96	—
為替差損	84	—
新株発行費	—	1
その他	23	13
経常利益又は損失(△)	△272	1,152
特別利益	204	53
投資有価証券売却益	166	3
貸倒引当金戻入益	—	32
持分変動損益	—	18
関係会社清算分配金	38	—
特別損失	878	512
固定資産除却損	86	252
固定資産臨時償却費	31	—
投資有価証券評価損	680	59
関係会社株式評価損	—	199
関係会社本社移転費用	79	—
税金等調整前当期純利益又は純損失(△)	△946	693
法人税、住民税及び事業税	146	245
法人税等調整額	△48	△100
少数株主利益	28	9
当期純利益又は純損失(△)	△1,072	538

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結剰余金計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2003年4月1日～ 2004年3月31日	2002年4月1日～ 2003年3月31日
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	10,956	10,956
資本剰余金期末残高	10,956	10,956
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	△17,688	△18,138
利益剰余金増加高	—	608
利益剰余金減少高	1,374	158
利益剰余金期末残高	△19,063	△17,688

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2003年4月1日～ 2004年3月31日	2002年4月1日～ 2003年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△721	3,824
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207	123
財務活動によるキャッシュ・フロー	91	△4,551
現金及び現金同等物に係る換算差額	△171	△127
現金及び現金同等物の減少額(△)	△1,008	△730
現金及び現金同等物の期首残高	4,442	5,173
現金及び現金同等物の期末残高	3,433	4,442

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	当期 2004年3月31日現在	前期 2003年3月31日現在
資産の部		
流動資産	18,650	15,081
固定資産	21,483	25,341
有形固定資産	5,079	5,934
無形固定資産	5,992	6,708
投資その他の資産	10,412	12,698
資産合計	40,134	40,423
負債の部		
流動負債	25,877	26,853
固定負債	11,558	8,285
負債合計	37,435	35,139
資本の部		
資本金	11,381	11,381
資本剰余金	10,956	10,956
資本準備金	10,956	10,956
利益剰余金	△19,803	△17,065
当期未処理損失	19,803	17,065
其他有価証券評価差額金	163	11
資本合計	2,698	5,284
負債及び資本合計	40,134	40,423

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	当期 2003年4月1日～ 2004年3月31日	前期 2002年4月1日～ 2003年3月31日
営業収益	60,539	61,940
営業費用	60,512	60,703
営業利益	27	1,236
営業外収益	225	252
営業外費用	626	148
経常利益又は損失(△)	△373	1,340
特別利益	204	66
特別損失	2,557	665
税引前当期純利益又は純損失(△)	△2,726	740
法人税、住民税及び事業税	11	11
当期純利益又は純損失(△)	△2,737	729
前期繰越損失	17,065	17,794
当期末処理損失	19,803	17,065

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

資本政策の実施

増資による財務基盤の強化と早期の配当可能利益の計上を図るため、資本準備金の取崩しと資本金の減少により累積損失を一掃いたします。

2004年7月末(予定)

(単位:百万円)

資本金の減少	→	資本金	5,000
		資本剰余金	2,738
資本準備金取崩し	→	資本準備金	2,601
		其他資本剰余金	136
累積損失の解消	→	利益剰余金	-
		其他有価証券評価差額金	163
		資本合計	7,902

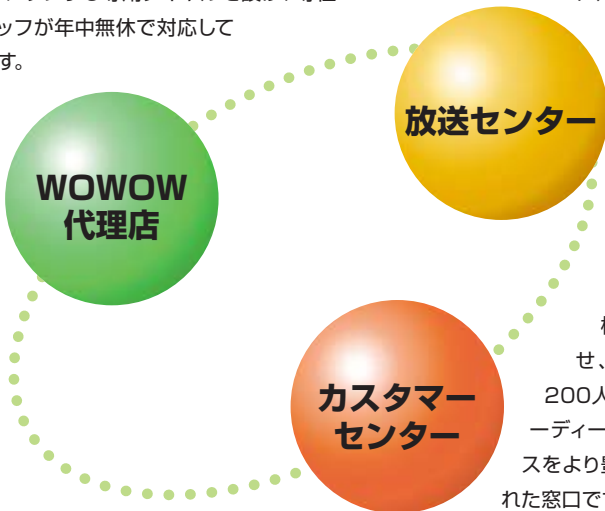
52億円の第三者
割当増資

※第三者割当増資は、2003年6月16日に効力発生
 ※資本準備金の取崩しは、6月23日に効力発生
 ※資本金の減少は、7月末効力発生予定
 ※資本金の減少による株数の変更はございません

● お客様に最高のサービスを提供するWOWOWネットワーク

お客様がいつでもどこでもWOWOWにご加入いただけるよう、全国約60,000店の家電販売店にWOWOW代理店として活動していただいています。また全国のケーブルテレビ局でもご加入・視聴ができます。WOWOWでは、代理店・ケーブルテレビ局の活動をバックアップする専用ダイヤルを設け、専任

スタッフが年中無休で対応しています。



番組発信の中心となる放送センターでは、屋上のパラボラアンテナから宇宙空間の放送衛星に向けて電波を送信しています。番組の自主制作を行う設備として、高画質高音質のBSデジタル放送に対応した2つのスタジオと3つの

編集室があります。また中継番組制作のため、ハイビジョン放送に対応した大型中継車があります。優れたハードと技術で、日本全国に鮮明な映像とCD並みのクリアな音声をお届けしています。



カスタマーセンターでは、お客様からのさまざまなお問い合わせ、ご意見、ご要望に対し、常時200人以上のコミュニケーターがスピーディーにキメ細かく対応。放送サービスをより豊かにするために情報をキャッチする、全てのお客様に開かれた窓口です。加入受付から料金・スクランブルの管理、番組情報、受信技術相談、会員特典、そして全国に展開する代理店のサポートまで、さまざまなサービスを提供しています。



● 関係会社

会員サービス	(株) ワウワウ・コミュニケーションズ	顧客サービス業務、テレマーケティング業務、クレジットカードサービス業務
	(株) ワウワウ・マーケティング	放送サービスの加入契約業務
	(株) ケータイワウワウ	情報通信システムによる広告業務(ケータイメルマガの発行)、情報提供サービス
コンテンツ	(株) ワウワウプログラミング	映画放映権の取得、使用許諾、販売業務
	(株) ワウワウ・ミュージック・イン	音楽著作権事業
CSデジタル事業	(株) CS-WOWOW	CSデジタル放送(東経110度)での委託放送事業

● 会社概要・事業案内

(2004年3月31日現在)

社名	株式会社WOWOW(WOWOW INC.)
ホームページアドレス	http://www.wowow.co.jp/
主な事業内容	衛星による放送事業(有料放送を含む)
放送チャンネル	アナログ放送 テレビ BS第5チャンネル デジタル放送 テレビ WOWOW(191ch) WOWOW2(192ch) WOWOW3(193ch) ラジオ WOWOWwave1(491ch) WOWOWwave2(492ch) データ放送 WOWOWnavi(791ch、792ch)
設立	1984年12月25日
営業放送開始	アナログ放送 1991年4月1日 デジタル放送 2000年12月1日
資本金	113億8,110万円
従業員数	313名

● 取締役及び監査役

(2004年6月23日現在)

代表取締役会長	佐久間 昇二	
代表取締役社長	廣瀬 敏雄	
常務取締役	吉永 弘幸	営業総括、営業、顧客サービス、プロモーション担当
常務取締役	有園 徹*	渉外、総務、コンプライアンス担当
取締役	出水 啓一郎	株式会社CS-WOWOW代表取締役社長
取締役	関川 修一	経理、情報システム担当
取締役	金子 康雄	放送総括、編成、技術、広告・事業担当
取締役	黒水 則顯	経営企画局長、IR広報、人事担当
取締役	西室 泰三	株式会社東芝 取締役会長
取締役	加藤 秀俊	国際交流基金 日本語国際センター所長
取締役	松本 善臣	興和不動産株式会社 取締役会長
取締役	間部 耕平	日本テレビ放送網株式会社 代表取締役社長
取締役	原田 俊明	株式会社東京放送 執行役員 メディア推進局長
取締役	飯島 一暢	株式会社フジテレビジョン 執行役員 経営企画局長
監査役(常勤)	日比 正	
監査役	絹村 和夫	財団法人セゾン文化財団 会長
監査役	小山 敬次郎	財団法人児童育成協会 副理事長
監査役	松香 茂道	株式会社日立製作所 取締役

*2004年8月3日に就任の予定です。

● 所在地

本社	〒107-8080 東京都港区元赤坂1-5-8	TEL.03-5414-8111(代表) FAX.03-5414-8100
放送センター	〒135-0053 東京都江東区辰巳2-1-58	TEL.03-5569-8111(代表) FAX.03-5569-8013
横浜カスタマーセンター	〒220-8080 横浜市西区みなとみらい3-3-1 三菱重工横浜ビル18F	TEL.0120-580807
沖縄カスタマーセンター	〒900-0015 那覇市久茂地2-14-1	TEL.0120-580807
北海道営業所	〒003-0023 札幌市白石区南郷通20-3-28	TEL.011-864-8821 FAX.011-864-8829
東北営業所	〒981-3117 仙台市泉区市名坂字清水端59-2	TEL.022-371-5536 FAX.022-371-5537
首都圏営業所	〒107-8080 東京都港区元赤坂1-5-8	TEL.03-5414-8124(代表) FAX.03-5414-8132
中部営業所	〒461-0004 名古屋市東区葵1-25-1	TEL.052-933-2671 FAX.052-933-2669
関西営業所	〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-17-18	TEL.06-6326-7824 FAX.06-6326-7828
中四国営業所	〒730-0047 広島市中区平野町2-21	TEL.082-243-0660 FAX.082-243-0671
九州営業所	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-7-22	TEL.092-411-8331 FAX.092-411-8320

株式の状況

株式状況

(2004年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	330,000株
発行済株式総数	100,122株
株主数	6,253名

大株主

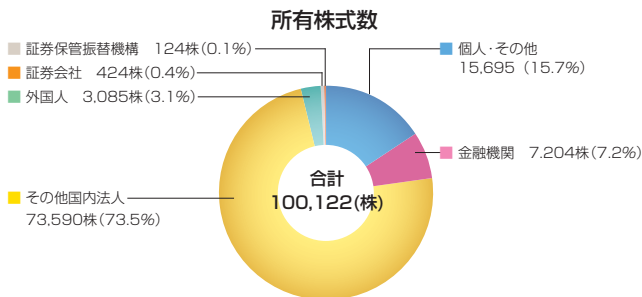
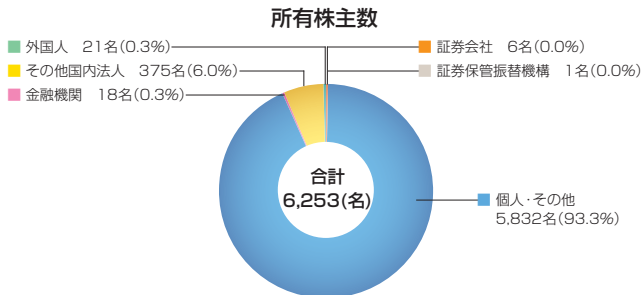
(2004年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	議決権率比(%)
株式会社フジテレビジョン	6,736	6.74
三菱商事株式会社	5,006	5.01
株式会社東京放送	4,913	4.91
日本テレビ放送網株式会社	4,082	4.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社電通口)	3,004	3.00
松下電器産業株式会社	3,004	3.00
株式会社東芝	3,000	3.00
株式会社朝日新聞社	2,276	2.28
株式会社西友	2,080	2.08
東京急行電鉄株式会社	2,080	2.08
株式会社産業経済新聞社	1,730	1.73
株式会社テレビ朝日	1,730	1.73
株式会社テレビ東京	1,730	1.73
株式会社日本経済新聞社	1,730	1.73
株式会社読売新聞東京本社	1,730	1.73

(注)日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社電通口)の持株数3,004株は、株式会社電通が同行に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は、株式会社電通が留保しております。

株主構成

(2004年3月31日現在)



株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日
名義書換代理人	UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081
同事務取扱所 (お問い合せ先)	東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.03-5683-5111(代表)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社本店、全国各支店および営業所
公告掲載新聞	日本経済新聞

貸借対照表及び損益計算書掲載のホームページアドレス

<http://www.wowow.co.jp/>

外国人等の株主名簿への記載の制限

放送法第52条の8第1項に関連して、当社の定款には次の規定があります。定款第6条 当社は次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所を株主名簿に記載することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、当会社の議決権の5分の1以上を占めることになるときは、その氏名及び住所を株主名簿に記載することを拒むものとする。

- 1.日本の国籍を有しない人
- 2.外国政府またはその代表者
- 3.外国の法人または団体

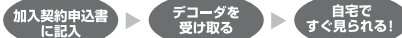
WOWOWのご加入案内

アナログWOWOW (BS-5ch)

◎加入料3,150円

◎視聴料2,100円(月額/月刊プログラムガイド付)

お申し込み方法



◎クレジットカードで今すぐ加入できます。

◎口座振替による加入もできます。

(ご希望の方は、金融機関の口座番号とお届け印をご用意ください。)

※ケーブルテレビでご覧の場合はケーブルテレビ局へお申し込みください。※視聴にはBS機器のほか、専用のWOWOWデコーダが必要です。デコーダ代金は8,400円となります。※デコーダはご自身で取付可能です。ただし、WOWOW代理店に取付を依頼した場合には、取付サービス料として4,000円程度の費用がかかります。

デジタルWOWOW

◎加入料3,150円

◎視聴料2,415円(月額/月刊プログラムガイド付)

お申し込み方法

WOWOW加入案内フリーダイヤル

☎ 0120-480801

B-CASカード番号をお知らせください。電話受付から15分ほどでご視聴できます。

加入契約申込書に記入

※視聴にはBSデジタル機器が必要です。

アナログWOWOW
(BS-5ch)にご加入の皆様へ

お得なデジタル移行特典!

アナログWOWOW (BS-5ch)にご加入中のお客様が、デジタルWOWOWに移行変更いただく際に、下記の特典がご利用いただけます!

※平成15年11月1日より、移行特典が一部変更になりました。

加入料 ▶ **無料**

3,150円おトク

視聴料 ▶ **月額2,100円** (1年間)

3,780円おトク

※金額はすべて税込です。

株主優待制度

2003年度より株主優待制度を導入いたしました。毎年9月末の株主の皆様を対象に年1回実施いたします。

1株以上の株主の皆様は①、②いずれかを贈呈。

① WOWOW視聴優待

WOWOWにご加入されていること、もしくはご加入していただくことを条件として、WOWOWの視聴料3ヶ月分に充当

※優待対象となる加入契約者の名義は、株主ご本人または同居のご親族に限るものといたします。

※優待対象となる加入契約は、複数契約されている場合でも1件だけとさせていただきます。

※1加入契約につき1優待となり、同一の加入契約で複数名義の優待は適用いたしません。

② WOWOW関連グッズ

当社の指定する商品のなかから希望商品1点を贈呈



この冊子は環境にやさしい大豆油・インクと100%再生紙を使用しています。

WOWOW

<http://www.wowow.co.jp/>